



「みんなで取り組む！能代第二中の校内研究紹介②」

前号に引き続き、能代市立能代第二中学校の校内研究を紹介します。生徒が主体的に学ぶ授業づくりを実現していくためには、校内研究の充実は欠かせません。各校の実践に生かせるところを見つけ、授業改善に生かしましょう！

【ポイント：校内研究では、**授業の評価ではなく、全校の重点・共通実践事項**を評価し改善する】



【授業研究の年間PDCAのイメージ】



4月：職員会議等

育成したい資質・能力に基づいた今年度の研究の方向性を共有し、**全員で実践する重点・共通実践事項**を確認する。

1回目：○年生△△科の授業研究会（事前研究会2回+授業研究会当日）

【授業前】

事前研①：指導案検討



改善



事前研②：模擬授業



改善



- ・**教科を越えて**「探究」「学び合い」の2つのチームをつくり、**それぞれの視点から**指導案と模擬授業について協議する。
- ・2つのチームは、授業研究会ごとに編成を変え、多様な視点で協議する。

【授業当日】

授業



協議



- ・授業での**重点・共通実践事項**の状況を検証し、各教科で今後の実践する改善策を共有する。

【授業後】・具体化した改善策を次回の研究会までに**全員で実践**する。



2～5回目…取り組んできた実践の課題と改善状況を検証→新たな改善策の検討・実践をつみ重ねる。

3月：職員会議等

今年度の成果と課題を共有し、**次年度の方向性を全員で見いだす**

事前研究会で授業についてしっかり議論しているので、授業研究会当日は、**重点・共通実践事項**についての取組状況を評価をする機会になっています。1年間に取組の評価・改善を何度も繰り返し、教科を越えて授業を観合い語り合うことで、「みんなで授業を『探究』している」と感じています！

